

CO-CO<sub>2</sub> 相関を用いた燃焼発生源の解析Correlation of CO and CO<sub>2</sub>: Diagnostics for emission source characteristics

# 竹川 暢之 [1]; 町田 敏暢 [2]; 近藤 豊 [3]

# Nobuyuki Takegawa[1]; Toshinobu Machida[2]; Yutaka Kondo[3]

[1] 東大・先端研; [2] 環境研; [3] 東大先端研

[1] RCAST, Univ of Tokyo; [2] NIES; [3] RCAST, Univ. of Tokyo

CO-CO<sub>2</sub> 相関の傾き (dCO/dCO<sub>2</sub> 比) は、燃焼発生源 (化石燃料・バイオマス燃焼) の特徴を調べるうえで有用である。dCO/dCO<sub>2</sub> 比はバイオマス燃焼の研究では良く用いられてきたが、その他の発生源との系統的な比較のもとに議論された例はほとんどない。我々はこれまで、都市域 (東京、名古屋など)、アジア下流域、バイオマス燃焼域 (オーストラリア) で観測を行ってきた。本研究では、我々の観測データと他の観測データを併せて統合的に解析する。発生源別の特徴や排出インベントリとの比較についても議論する。